

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 6月 2日 更新

事務事業名		土砂災害危険住宅移転促進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	原田 和彦
	施策	15	防災対策の推進			所属課	建設課	担当者名	木村 日向子
	施策の柱	48	災害予防対策			所属班	工務班	(内線)	5259
予算科目	会計	一般	款	項	目	事業連番	根拠法令	熊本県土砂災害危険住宅移転促進事業補助金交付要綱 合志市土砂災害危	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 31 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）からの移転を支援する事業（土砂災害危険住宅移転促進事業）について、対象補助金の全額を熊本県から受けて合志市が実施する事業。合志市外からの転入、合志市内への移転に対しての支援事業。
【業務の流れ】	①申請者から市へ交付申請書、添付書類を提出、確認受領。 ②市から県砂防課へ交付申請書、添付書類、事業計画書を提出、確認受領。 ③申請者から実績報告書、添付書類を提出、確認受領。 ④市から県砂防課へ実績報告書、添付書類を提出、確認受領。 ⑤申請者から市へ交付請求書を提出、確認受領、支払い。 ⑥市から県砂防課へ交付請求書提出、確認受領、支払い。
【主な予算費目】	歳入：県支出金（県補助金） 歳出：負担金補助及び交付金（補助金）
【意見や要望】	合志市の土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）等に居住している方、合志市に転入を検討している方から事業について問い合わせがある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	1件の補助金交付を計画していたが、今年度の申請は0件であった。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
	【基準に達しなかった理由】 今年度の申請が無かったため。	1件の補助金交付を計画。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
ア! 土砂災害特別警戒区域からの移転、住宅を再建する等対象者! 件	イ!	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
土砂災害特別警戒区域からの移転、住宅を再建等する者。	ア! 交付金申請者件数	件
	イ!	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
被災者への支援になる。	ア! 交付金受領者件数	件
	イ!	
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
被災者からの交付申請件数、交付金受領件数により被災者への支援状況がわかる。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 件	1	1	1	0	1	1	1	1
	イ								
② 対象指標	ア 件	1	1	1	1	1	1	1	1
	イ								
③ 成果指標	ア 件	1	1	1	0	1	1	1	1
	イ								
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	3,000	3,000	3,000	0	3,000	3,000	3,000
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	40	40	40	60	40	40	40	40
(B)人件費計	千円	157	156	159	228	159	159	159	159
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,157	3,156	3,159	228	3,159	3,159	3,159	3,159

事務事業名	土砂災害危険住宅移転促進事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 移転申請があった場合は補助金を交付する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 移転者の有無による。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 土砂災害危険住宅移転促進事業においては、庁舎内でも建設課のみ管轄しており類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 熊本県からの補助金を市が受領し、市から申請者へ交付する事業であるため削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付の事務手続きについては適正に行う必要があることから、正規職員以外の職員は担当できない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) にお住まいの方は全て対象者であるため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) は市が管理しているため、民間委託等ではない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

土砂災害特別警戒区域等内の居住者の生命及び身体を保護するため、土砂災害危険住宅からの移転を行う者に対し補助金を交付する事業であることから、継続は妥当である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						